

# 組合 NEWS

Faculty and Staff Union of Kanazawa University  
金沢大学教職員組合執行委員会  
金沢市角間町  
Tel.076-262-6009 (FAX同じ) / 角間内線2105  
E-mail kanazawa@ku-union.org  
ホームページ http://www.ku-union.org/

2018年9月25日

通巻1261号

この号の内容

- 2018年度 役員紹介
- 所信表明

## 2018年度 執行委員を紹介します



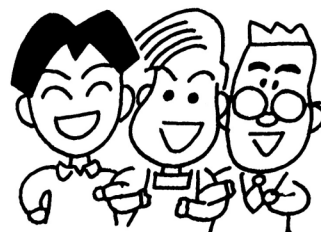
執行委員長	清水 邦彦	角間北支部 (歴史言語文化学系)	教員系
副執行委員長	佐藤 正英	工学系分会 (総合メディア基盤センター)	教員系
書記長	小林 信介	角間北支部 (経済学経営学系)	教員系
書記次長	井田 朋智	理学系分会 (物質化学系)	教員系
会計委員	岡本 博之	医学系四分会 (保健学系)	教員系
執行委員	岡本 宜高	角間北支部 (法学系)	教員系
々	酒井 利昌	工学系分会 (総合技術部機器開発部門)	技術系
々	土屋 明広	角間北支部 (学校教育系)	教員系
々	服部 浩司	附属学校園支部 (中学校)	教員系
々	平野 晃宏	工学系分会 (フロンティア工学系)	教員系
監査委員	古寺 哲幸	理学系分会 (ナノ生命科学研究所)	教員系
々	小林 宏明	角間北支部 (学校教育系)	教員系

よろしくお願ひします!

所信  
表明

執行委員長  
清水 邦彦 (歴史言語文化学系)

### 組合の意義



この度執行委員長に就任した清水です。本会では既に書記長・副委員長を務めているので、ご存じの方も多いと思いますが、念のため、自己紹介をしますと、人間社会研究域歴史言語文化学系所属、人間社会学域国際学類担当の教員です(長い!)。専

門は日本文化で、就中、地藏信仰を専門としています。

今回、委員長を引き受けましたのは、一つには金沢大学の多忙化が著しいからです。昔話から話を切り出します。私、前職は筑波大学助手でした。筑波大学は、全国の大

学に先駆けて、系と学類とを分離した大学です。分離した結果、会議が複雑になり、水曜日を会議日としました。水曜日は教員があちこちの会議をせわしなく移動する日になりました（午前中が学類会議、午後が系会議、その間に大学院の会議とか）。水曜日には専任教員の授業が一日中入らず、結果、他の曜日において近隣分野の授業が重複するようになり、受けたい授業が受けられず、困る学生も居ました。ちなみに、新任教員の人事結果の紹介は、学類会議・系会議・大学院の会議で行われますので、「こいつの紹介を聞くのは今日だけで3回目」とぼやく方もいました。

幸い、助手は半年で辞めることができました。その際、後任の助手のため、前任の助手であるKさんに電話しました。「え、清水さん、金沢大学に転出！ 金沢大学は筑波大学より暇だよ。私は金大の先生を見て、大学教員になろうと思ったが、筑波に来て先生方が忙しいので後悔した」 Kさんは、本学文学部文学科日本文学コース卒業でした。私が金沢大学に着任したのは1999年4月のことでした。まだ金沢大学が国立大学の時期です。当初は確かにKさんの云う通り、さほど忙しくなく（着任した前期は2コマ）、良い大学に就職できて良かった、と思っていました。当初は勧誘がなかったので組合に未加入でした。ある意味、組合に入る必要が無かった時代だったとも言えます。着任2 or 3年して、Kさんの指導教員より勧誘を受け、これも何かの縁かと思い加入、直後に法文分会役員となりました。

いつ頃から多忙化となったのか？ なかなか、これだ！という時期は思い出せませんが、教員においては2006年、大学社会生活論・情報処理基礎・初学者ゼミが全学的に導入された時期が目安となりましょう。上記科目が増えたからといって、従前の科目の担当が少しでも減るという訳では無く、結果、仕事は増

える一方という時代が来ました。無論、これらの導入科目は、学類生の教育に必要なものです。が、同時に研究成果の厳格な評価をもって（\*何ををもって「厳格」となるのか、も現況、問題ですが）昇進・昇給が計られるようになった時期でもあり、担当授業は増えるわ、研究成果が従前より求められるわ、で多忙化の時代となります。2004年の法人化以後、職員の数は減り、一方、非常勤職員の数が増えています。非常勤職員ですと、時に業務内容や時間に制限があります。職員の方々も徐々に多忙化していったとお察しします。

無論、私に多忙化を食い止める秘策がある訳ではありません。仮に秘策があっても、労使交渉の結果、大学側がそのまま受け入れるとは到底思いません。過半数代表という制度はあります。が、過半数代表は大学に意見を云うことができますが、大学はその意見を取り入れる必要はありません。頼りになるのは法律に基づく本労働組合ですが、加入率はさほど高くありません。多忙化を少しでも改善するため、私もできる努力はしますので、組合員の皆様も周りの未加入の方々の勧誘をお願いします。加入率の高さが労使交渉の際、力となります。副委員長時代に学長から、頑張って加入者を増やすようにとの激励も受けました。

月々の組合費は安くはありません。しかし、法人化以降、我々は失業保険を払っています。これは①金沢大学が倒産した場合、②業務の著しい変更を理由として大学によって解雇される場合、の2つを想定しています。法人化した金沢大学にとってありえない話ではありません。何かあったときに労働組合が無い（もしくは活動ほぼ停止）と大変な事になります。繰り返しになりますが、組合員の皆様、勧誘をお願いします。みんなで力を合わせて多忙化等本学の労働問題を少しでも改善しましょう。

所信  
表明

書記長  
小林 信介 (経済学経営学系)



## ともあれ1年間やってみます

書記長に選出されました小林信介です。

私が担当している専門科目（日本経済史）では、労働者側の視点で日本経済を講述することもあります。結果、黎明期から現在に至るまでの組合運動についても学生と考える機会があります。

授業では、日本の労働組合運動が他の先進諸国と比較して低調であることを、組織率やストライキによる労働損失日数などで示します。すると当然の如く、学生は「なぜ日本でそこまで低調になったのか」との疑問を抱きます。その解として複数の要因を説明しますが、そのなかには金沢大学で働く私たちにも当てはまる事柄があるように思えます。

これを放置したままでは、私たちの運動も衰退の一途から抜け出すことが困難です。それに抗するために、“共有しうる問題意識をいかに共有していくか”を常に念頭において活動していきたいと思えます。

授業で労働運動を扱っていると、気になる学生の反応がもうひとつあります。組合（運動）について、深刻な偏見を持っている学生が少なからず見受けられることです。院生時代に教職に就いた旧友から教組加入の相談を受けた際に、止めた方が良くと言ったことがあるくらいですから、私自身も学生時代には、これに近い偏見を持っていました（そんな私が常勤職に就いて直ぐに本組合に加入したのは、“研究の方向性”、“しがらみ”、“教育環境”などが総合的に作用した結果です）。

もちろんこれらの例を以て、新規採用の教職員もそうであるとはいえません。ですが、組合を軽視・否定する向きが本学にな

いとも言い切れません。組合への誤解や偏見を解くには、非組合員への情報発信が欠かせません。

金沢大学教職員組合はもちろん、労働組合の本義は、“労働環境の改善”にあると考えています。であるならば、私たちの活動は、組合員のみならず、すべての教職員に関係します。

広報活動の充実化を図り、私たちの活動への理解を深め、関心を高めていくことは、必要不可欠な方向性であるといえるでしょう。

ここまで挙げた“問題意識の共有化”や“広報の充実化”については、前書記次長が着手した広報媒体の多様化をより推進していきたいと考えています。WebやSNSを活用し、新規教職員をはじめとする非組合員をも視野に入れた問題吸収力や情報発信力の強化に取り組んでいきたいと思っています。

ただ、いかんせん、私自身にはWebやSNSを運用する能力がほとんどありません。くわえて、本会の役員は2度目となりますが、まだまだ力不足です。微力を尽くしたいと思えますが、皆さまのご助力を切望する次第です。

私は、20数年前本学経済学部に入學して以来、他大学に籍を置いたことがありません。それにくわえて、学生時代の演習配属から今日に至るまで、本学における私の“居場所”が、いまの研究室であり続けています。他学を知らず、（実は）本学も広くは知らない。そんな私を書記長に就けた責任は、ぜひ皆さまにも共有していただきたく存じます。



**書記次長**  
**井田 朋智** (物質化学系)



## 理工統合で組織強化！

今年度、書記次長として選出されました井田と申します。所属は物質化学系ですが、専門は理論化学なのでピーカーやフラスコは全く触りません。以前、本会の平執行委員を務めたのがちょうど10年前で、この金沢大学を取り巻く状況に当時と違う点、もちろん同じ点も、様々な問題に接していると今更ながら感じます。

10年前は労働関係の法改正が行われ、非常勤職員の待遇が特に問題になったことを覚えています。今でも雇止めなど問題が山積なのは変わりません。また現在は、学類改組、新機構や新研究所の設立により、テニユアトラックの拡大と特任教員の大幅増加で、若手教員の将来が非常に心配です。

特に任期付きだから組合活動なんて自分と関係ないと思っていないでしょうか。任期の有無に関わらず、もしお困りのことがあれば、ぜひ意見や情報を本会にお寄せください。

加えて最近、この方は実際どこの所属なのだろうという教職員が増えています。担当する支部分会も不明瞭になり、組合組織側も改革の時期だと感じます。私は今こそ理分会だ、工分会だという垣根を越えて、新理工分会を創設し、広く組合活動に参加できる環境を整えるよう尽力したいと考えています。今後、皆様のご協力をお願いすることがあるかと存じます。その際は、よろしくお願い致します。



### お申し込み

学内便等にて組合事務所までお送りください。

又はメール

[kanazawa@ku-union.org](mailto:kanazawa@ku-union.org)

ご記入いただいた事項は「個人情報保護に関する法律」を遵守し、組合活動情報のご提供、組合費徴収などの事務のために適切な取り扱いをいたします。

### 連絡先

金沢大学教職員組合

金沢市角間町

TEL076-262-6009 (FAX同じ)

内線(角間) 2105

<http://www.ku-union.org/>

### 金沢大学教職員組合 加入申込書

申込日 年 月 日

ふりがな

氏名 (男・女) 生年月日 年 月 日

所属部局 職種 職名

電話番号

E-mail (職場・個人用)

組合費  チェックオフ(賃金控除)【通常はこちら】 8桁の職員番号

チェックオフ以外の方法を希望 ( )

住 所

差し支え無ければ記入ください。職場に組合の発行物をお届けしにくい場合にはご自宅への送付も可能です。